

ブラック企業とはどんな会社ですか

【質問】

現在、就職活動中です。「ブラック企業」という言葉を、最近よく耳にするのですが、どんな企業のことを言うのでしょうか。またそういう企業に就職しないために注意すべきことと、もし知らずに就職したらどうすれば良いのでしょうか。

【答え】

若者などを過酷な労働環境に置き、若者の使い捨てが疑われる企業について俗に「ブラック企業」と呼ばれています。

「ブラック企業」の明確な定義はありませんが、一般的には次の行為が日常的に行われ、働く人が強いダメージを受けている企業を指すことが多いようです。

- 長時間労働やサービス残業
- パワーハラスメント
- 過重なノルマ
- 休みがない、有休が取れない
- 辞めさせてくれない
- 離職率が高い
- 給料の勝手な引き下げ など

厚生労働省では、夜間や休日に電話で無料の労働相談を受け付けたり、違法な長時間労働を繰り返す大企業について社名を公表することを決めるなど、ブラック企業対策を強化しています。

ご質問の件ですが、就職活動中であれば、求人票や募集要項の内容を十分に確認し、曖昧な書き方でよく分からない箇所や疑問があれば企業に確認をしましょう。求人票等の内容は、不特定多数の求職者に示す労働条件であり、実際の労働条件と違う可能性があります。企業と労働契約を結ぶときは、自分の労働条件について**労働条件通知書**等の書面を受け取り、内容を確認しましょう。

また、就職してから、「毎日夜中まで残業で休みがない」、「残業しても残業代が支払われない」、「上司に大声で毎日怒鳴られている」、「いつまで経っても社会保険に入れてもらえない」など、おかしいなと思ったときは、労働条件通知書、給与明細書、タイムカードのコピーや上司の発言の記録などの証拠を残しておくことが大切です。もしも、疑問を感じたらひとりで抱え込まずに信頼できる人や相談機関に相談するようにしましょう。

【ワンポイントアドバイス】

- ❖ 自分の労働条件を書面で確認し、おかしいなと感じたら証拠となる記録を取っておきましょう。
- ❖ 働く条件や働き方に疑問を感じたら、ひとりで抱え込まずに信頼できる人や相談機関に相談しましょう。